

平成26年度 第3回理事会 議事録

日 時 平成26年12月13日（土）14時00分～15時55分

場 所 北海道立総合体育センター大研修室

出席者 近藤龍夫、嶋倉 昭、川村俊明、高坂 猛
渋谷研一、大江憲一、黒田謙二、須田正毅
杉木 恵、印藤智一、櫻庭功一、春間好実
山田伸二、西谷清之、高橋克徳、関原榮司
三浦義廣、山内孝夫、宮原 勉、奈良孝伸
菊池 徹、武田和夫、鈴木佳次、大橋公徳
丸山道博、（オブザーバー川崎尚子）

1 開 会

総務委員長から理事32名中23名の出席があり、理事会は成立することが報告される。

2 会長あいさつ

年末のお忙しい中、理事会に出席をいただききお礼。

理事会に先立ち、JOC都道府県対抗中学大会に出場する北海道選抜チームの壮行会が行われた。9月から練習に励んできており上位の成績を収めてほしいと思う。

また、大橋理事と三浦理事が、日本協会から表彰された。会議終了後に表書状を贈呈したい。

先月は、道協会主催大会で、最も出場チームが多い春高バレーの代表決定戦が、また、先週は、韓国や国内の9人制トップチームが参加した櫻田記念大会が開催された。札幌協会、実業団連盟など大会運営にご尽力いただいた皆様に深く感謝を申し上げます。

今日の理事会では、これまで実施してきた事業等について報告される。内容をしっかりと検証し、来年度につなげてまいりたいので、よろしくお願い申し上げます。

3 議事録署名人の選出

会長から議事録署名人に自分のほかに、丸山理事、印藤理事の2名を指名し、承認される。

4 報告事項

（1）平成26年度前期事業実施状況について

事前送付された理事会資料に基づき、総務委員会から順に副理事長、各委員長が次の事項について報告し、承認される。

①総務委員会

- ・各種会議開催状況、適正な財務執行に向けた取組状況、MRS登録状況、倫理委員会の状況、掲示板の休止などについて

②競技委員会

- ・委員会等の開催状況、大会運営報告などについて

③審判委員会

- ・各種会議の参加・開催状況、審判委員指導育成事業状況などについて

④強化委員会

- ・中学生強化や高校生強化の状況、国体の結果として添付した報告書などについて
※資料中、成年女子の対戦相手は長崎県となっており、滋賀県に訂正を願う。

⑤指導普及委員会

- ・各種会議の開催状況、指導者研修会・バレー教室の状況、小学生・中学生競技大会関係について

※資料に記載漏れがあり、クラブ及びU14関係と指導者育成講習会関係に関する資料及び現時点での道公認コーチ登録・更新状況、JOC壮行会次第並びに選手・スタッフ名簿が追加配布される。

⇒第11回ジュニアキャンプ（1次）開催一覧の日高協会開催会場は、新ひだか町三石スポーツセンターが正しいため訂正されたい。

<質疑等>

○MRSの登録状況について

- ・報告ではチーム数の増減はあまりないとのことだが、前年度に登録していたチームが継続して活動しているかなど確認しているのか。指導普及の観点からチームの状況を確認すべきでないか。また、登録状況がわかるよう資料をまとめては。

⇒指導普及委員会はチームの状況はジュニアキャンプを通じて把握してきている。また、MRSの登録は2月末までのため動きがあるが、総務委員会と指導普及委員会が連携し、MRSも活用して実態把握に努めるほか、MRSと道協会登録チーム数が一致していない状況を踏まえ、この点も整理し報告したい。

○掲示板の休止について

- ・掲示板への書き込みがエスカレートしたため休止したとのことだが、どんな内容だったのか。

⇒ジュニアキャンプでの指導者の言動に関する内容で、事実関係の確認し掲示板にその顛末を掲載したほか、各地区協会の指導普及委員長を通じて注意を促した。

掲示板を休止に至った問題は選抜選手選考に関する内容で、その内容に関する書き込みが段々エスカレートしていったことから休止する手段をとった。なお、「北海道バレーボール協会では、掲示板を活用してバレーボール愛好者やファンの皆様からご意見等をいただくために開設したのですが、このたび一時休止とすることにいたしました。つきましては、今後、北海道協会に対するご意見は、次のメールアドレスに送信をお願いします。」とのコメントを掲載した。

- ・掲示板を設置したのであれば責任をもった対応が必要であり、書き込みの内容に対して説明できれば問題なく休止する必要はなかったのではないか。

・書き込み内容が炎上したとのことだが、道協会として反省すべきところがあれば反省すべきではないのか。

・書き込み内容について各地区の指導委員長を通じて確認し、周知したとのことだが、地区の理事長や事務局にもお知らせが必要と思う。

- ・無記名のものに対応するのはどうか。掲示板は記名とすることも一つの方法だ。
 - ・掲示板は、協会運営に対し建設的な意見をいただくために設置したのだが、メールなどによる意見聴取も可能であり、必要性も含め検討すべきではないか。
- ⇒ご意見も踏まえ、掲示板の今後の在り方などについて検討したい。

○国体強化について

- ・国体強化のために年次計画を立て、強化・育成基金を活用し取り組んでいるものでその結果がわかるようにすべき。また、道協会の意向に沿った取り組みが必要である。
- ⇒国体の反省会を行っており、その結果をまとめたものが報告されるものとする。
- 国体少年はインターハイ優勝チームの監督を代表チームの監督として頑張ってもらっているがチーム強化には遠征等も必要である。今後、課題等も報告し理事会で意見をいただきたい。

(2) 平成26年度一般会計執行状況について

総務委員長から11月29日現在の執行状況について次のとおり報告し、承認される。

- ・収入は、未納協会があり、また、新入大会の参加料も今後入る予定だが、平成25年度からの繰越金が30万円あるためほぼ予算どおりになる見込みで、特に賦課金は、地区協会、加盟団体のご協力により予算を上回っている状況にある。
- ・支出は、大会費で17万円の不用額が出る以外は予算どおり執行される見込みのため収支均衡が図られる予定である。

<質疑等>

○予算執行について

- ・財政調整基金を取り崩さず執行できる見込みであり、この状況を保ってほしい。

5 協議事項

(1) 平成27年度全道大会開催地について

競技委員長から次のとおり説明し、決定される。

- ・天皇杯・皇后杯北海道ブロックラウンドは9月12日（土）に岩見沢市で開催する。
- ・大学リーグ秋季大会の開催日は10月24日（土）～25日（日）に訂正を願う。
- ・6人制総合大会北ブロック大会の開催日程は、現在、調整中である。
- ・高校選手権道代表決定戦は、新年度きたえーるが使用できないため他会場で調整する。

<質疑等>

○春高バレーの会場について

- ・会場が取れない理由は何か。また再来年以降はどうなるのか。「めざせきたえーる」をスローガンに南・北大会を統一した経緯がある。

⇒国際大会、イベント、全国大会が優先されるため来年度は使用できない。当時は、この時期に大きな行事等がなかったことから使用できる見通しであった。

再来年以降はきたえーるで開催できるよう調整していく。なお、関係機関と良い方策が見出せないか相談しており、その結果については3月理事会まで待つてほしい。

- ・現状は高体連にも情報として流していくべき。
- ・きたえーるの確保が難しければ道協会主催で回しても良いのではないか。

・春高バレーは何年もかけて協議し南・北統一を図った大会であり、開催地を回すことは絶対に駄目である。

⇒春高バレーは最優先してもらわないとダメだ。きたえーるはスポーツ施設であり、若者の大会を優先すべきであることを各方面に話していきたい。

○総合大会の運営費助成について

・来年度は本大会の助成費はあるのか。

⇒平成27年度から大会費は計上したい。

(2) 特別委員会の設置について

総務委員長から資料により次のとおり説明し、再度、常任理事会で検討することになる。

・第1条（目的）の2行目の組織運営検討委員会を財政等検討委員会に、また、第5条（会議）の太5条を第5条に訂正願う。

・これまでも組織運営や財政基盤などを検討する特別委員会を設置し、それぞれ答申をいただき種々見直し等を行ってきた。今回も同様に財政運営等について検討いただくための組織を設置したい。

・第2条（委員会の職務）及び第3条の委員は空欄で提案しているが、本日の理事会又は後日ご意見をいただき成案化したい。なお、常任理事会では、職務としては協会収支など財政問題全般について、また財政基盤の確立などが出されていたほか、委員では理事、常任理事のほか、専門的な外部委員を招へいしてはとの意見もあった。

・平成27年度は役員改選年であることから、委員会は新体制のもとでスタートし2年間で検討いただくことを想定している。

<質疑等>

○設置の目的等について

・提案するのであれば常任理事会としての考えを提案すべきでないか。

・課題があつてそのために何を検討するか。また、それ以上を目指すかによって検討内容は違ってくる。数年後に予想される状況を見据え、また、これまでの状況はどうであったかをもとに検討する。そのようなものを事務局で作ってはどうか。

・春高バレーとリンクさせて検討すべきと思う。この素晴らしい大会なのに観客が少ない。また、この会場でゲームをした選手が帰ってくるきっかけづくりを小・中・高・ママ連の力を最大限活用していくべきでないか。

⇒再度、常任理事会で検討する。

6 その他

○Vプレミアリーグについて

理事長から来年度は12月5日～6日の間、函館市にてVプレミアリーグ女子開催が決定したことが報告された。


○櫻田記念大会について

実連の鈴木理事長から先週開催した櫻田記念大会が無事終了できたことに関する報告と併せお礼の言葉があつた。

7 閉 会

【第4回理事会の予定：平成27年3月14日（土）きたえーる中研修室】

議事録署名人 会 長 近藤 龍夫 

議事録署名人 丸山 道博 

議事録署名人 印藤 智一 